市民説明会（第２回）の模様は、
右記の市ホームページ上の動画
からご覧になれます

北名古屋市行財政改革実行プラン

市民説明会の開催結果

1 開催目的

北名古屋市行財政改革実行プランの策定に際し、プランに対する市民の理解を深めつつ、今後、プランに基づく改革を着実に実行していくための第一歩として、市長が自らプランの内容を市民へ直接説明する市民説明会を開催する。

2 開催日時・場所

第1回	第2回
日時　10月28日（金）午後7時～午後8時30分 場所　北名古屋市総合体育館 　　多目的ホール	日時　10月29日（土）午前10時～午前11時30分 場所　名古屋芸術大学アートスクエア 　　大ホール

3 開催内容

□ 市長によるプランの説明（約60分）

パブリックコメント中の北名古屋市行財政改革実行プラン（案）の内容について、市長がスクリーン上のスライドを用いて、市民の目線に立ってわかりやすく説明をしました。

□ 事前に募集したプランに対する意見・質問に対する市長の考え方の説明（約40分）【概要は4～5ページ】

同趣旨の意見・質問を取りまとめた上で、四日市大学の岩崎教授（北名古屋市行政改革推進委員会会長）のコーディネートにより、市民に向けて市長が考え方を説明しました。

4 参加者の状況

- 事前申込制とし、9月末から10月21日（金）までの間、電子申請又は公共施設窓口への申込書の提出により、参加者を募集しました。
- 募集にあたっては、市広報、市ホームページ、市公式LINE、公共施設でのチラシ配架・ポスター掲示、自治会回覧板等により広く周知を図りました。

(1) 事前申込者数（申込方法別）

【単位：人】

	電子申請	西庁舎	東庁舎	文勤	体育館	図書館	ドーム	計
第１回	44	9	8	9	13	1	1	85
第２回	64	23	0	31	4	2	4	128
計	108	32	8	40	17	3	5	213

(2) 当日参加者数（属性別）

【単位：人】

	一般	職員	議員	行革委員	新聞記者	計
第１回	82（66）	41	11	4	4	142
第２回	137（113）	35	9	6	0	187
計	219（179）	76	20	10	4	329

（注）一般の（　）内の人数は事前申込者数で内数

(3) 当日参加者数(一般参加者の男女別・年齢別)

【単位：人】

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	小計
第１回	男	0	0	5	2	8	9	29	53
	女	0	0	0	0	7	5	11	23
	小計	0	0	5	2	15	14	40	76
第２回	男	0	4	4	5	8	17	49	87
	女	1	1	4	6	5	8	16	41
	小計	1	5	8	11	13	25	65	128
男計		0	4	9	7	16	26	78	140
女計		1	1	4	6	12	13	27	64
総計		1	5	13	13	28	39	105	204

（注）第１回の一般参加者82人のうち年齢未回答6人（女1人、未回答5人）及び第２回の一般参加者137人のうち年齢未回答9人（男5人、女3人、未回答1人）を除く

5 事前に募集したプランに対する意見・質問に対する市長の考え方（概要）

市民説明会の当日、市長が説明した考え方の概要は以下のとおりです。

質問項目	第１回	第２回
行革の数値目標	経済状況によって収入は良くなったり悪くなったりするので、数値目標を立てるのは難しいが、なるべく早いうちに普通の自治体の体力に戻していきたい	税収は読めないが、一生懸命削減するところはしていかなければいけない
情報開示	徹底した行政の透明性の確保と説明責任の充実に軸足を置いて、この市民説明会が終わった後、自治会単位などで対話集会を行う	ジャンボプールのあり方など、自治会単位や各種団体などで対話集会を進めながら、市民の皆さんの声を聞いてやっていきたい
行政サービスの低下	市民の皆さんの理解を得ながら、２つの施設を廃止したら複合化して１つ作るなどの考え方が必要	時代のニーズや変遷を捉えながら、古くなった制度を新しいものに変えていくためのチャレンジと捉えてほしい
借地料	このまま借地で進めてよいのか考えていかなければならない。小中学校の場合、借地購入のルールも作る必要。統合できるところ、廃止できるところは早いうちに計画性を持って取り組んでいくことが必要。地権者の皆さんの理解を得ながらじっくりやっていかなければならない	一番大切なのは地権者の皆さんとの丁寧な話し合い。いろいろなことを考えながら、例えば統廃合を進めることにより土地を返却できないかなど、難しいと言ってもいてもやっていかなければならないので、地権者の皆さんとじっくり話をしながら協力を得ていきたい
歳入の増加策	企業誘致はどこの自治体もやっているが、トップセールスも必要。ふるさと納税も市外の方へのPRなど、ご協力をお願いしたい	企業誘致はどこの自治体もやっているが、トップセールスとしていろんな企業に声をかけていきたい。自治体間競争に勝つためにも教育度を上げていきたい

質問項目	第１回	第２回
名古屋市との合併	市民の皆さんに機運があるかというとそうでもない気がする。時代の変化によっていろいろ考えなければいけないので、真摯に耳を傾けていく	市民の皆さんが望むならやるべきだとは思うが、なかなか難しいところがあると思っている
鉄道高架事業	事業には何百億円という多大なお金がかかる。今の北名古屋市にそれをやれるだけの体力があるかを考えたとき、ある程度基礎がしっかりしたところでチャレンジしていくべきであり、今早々にやるのは難しいと考えている	事業を起こそうとすると都市計画税も引上げをお願いする可能性がある。何百億円という莫大な費用を出せる体力が今の北名古屋市にあるかというと難しいと思っている。私だけの意見ではなく、議員の皆様と議論して、方向性を決めていきたい
西図書館の跡地利用	多機能型市民活動センターの整備に向けて、今、いろんな方が入って議論している。すごく良いものができると思っているし、これがうまくいってモデルにできれば、次に何かの施設を変えるときにもやっていける。	今、いろんな議論をしており、良いものができると思う。これが次に違うものを作り直していくときの良いケースになると思う。
若い世代、子育て世代への投資	質の高い教育にしていくことが大切。英語教育の向上など、自治体間競争の中で魅力あるまちにするため、質の高い教育を目指していきたい	北名古屋市に住民を呼び込むためには、質の高い教育をしていくことが、これからのあるべき姿ではないか
目指すまちの姿	健康快適都市の再構築が必要。対話集会を通じて市民が何をすべきか、市が何をすべきかについていろんな意見を聞きながら、新しい北名古屋市を描いていきたい。財政を良くするのが私の仕事ではなく、住んでよかったと思えるような北名古屋市をつくっていきたい	健康快適都市を再構築するために、市制20周年に向けて、市役所がやらなければいけない仕事、市民がやるべき仕事について市民の皆さんと対話しながら、自治基本条例を作っていきたい。市民参加型の北名古屋市を目指していきたい

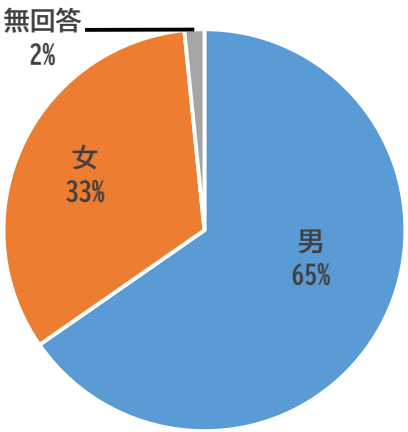
6 事前に募集したプランに対する意見・質問の内容とそれに対する市の考え方

- 今回、9月末から10月21日（金）までの間、プランに対するご意見・ご質問を募集したところ、53名の皆様からご意見・ご質問を頂きました。
- 同趣旨のご意見・ご質問については取りまとめた上で、市民説明会の当日に、市長から考え方をお伝えしたところでありますが、今一度、一つ一つのご意見・ご質問に対して、市としての考え方を**【別添１】**のとおり整理しました。
- 今後とも、市民対話集会の開催など、より一層、市民の皆様に開かれた市政運営を心掛けてまいります。

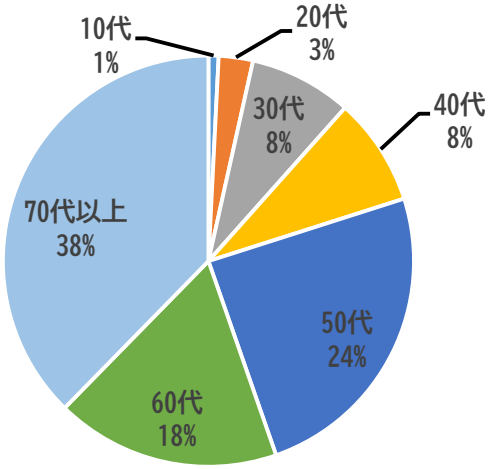
7 アンケート結果

当日の来場者に対してアンケートへのご協力をお願いし、259通（第１回119通、第２回140通）の回答をいただきました。アンケートの集計結果は以下のとおりです。

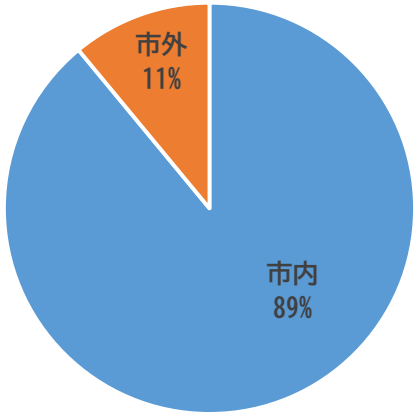
(1) 性別



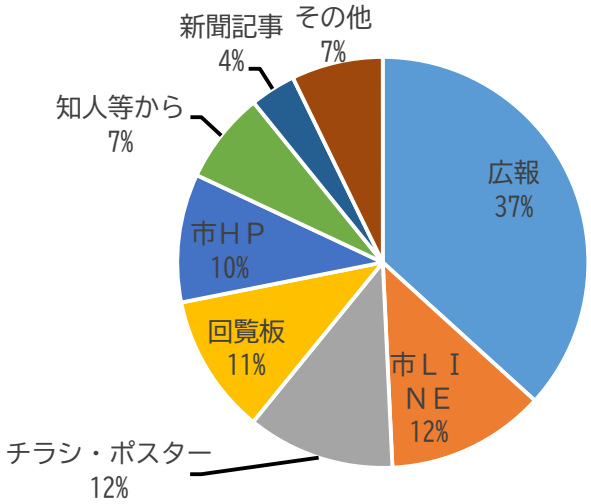
(2) 年齢



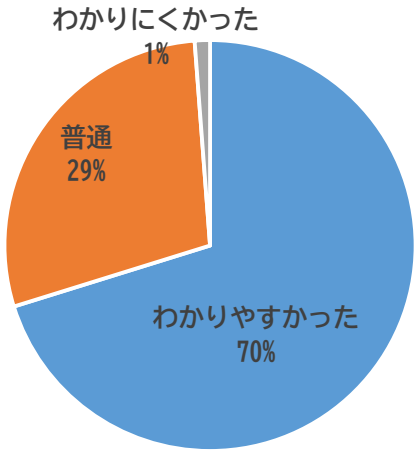
(3) 住所



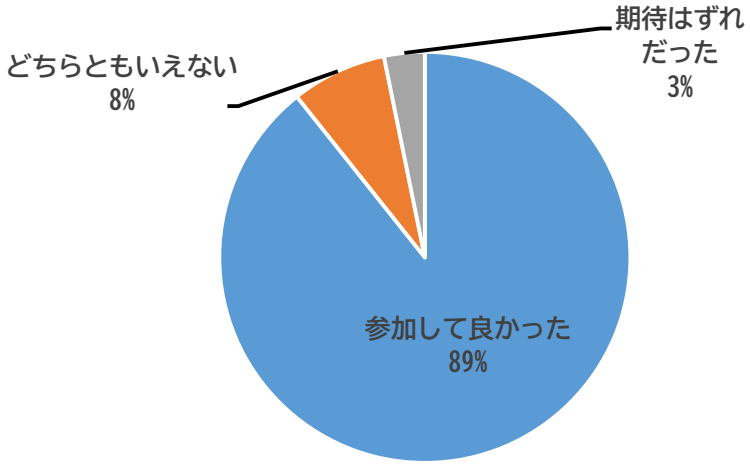
(4) 市民説明会の開催をどのように知ったか



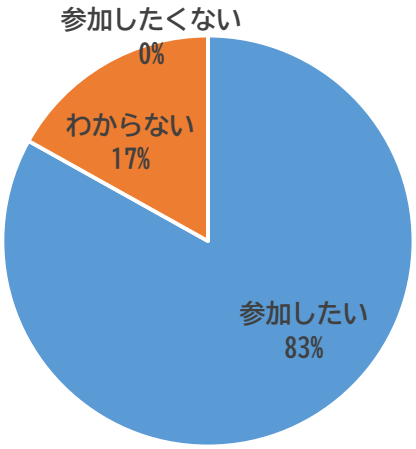
(5) 説明内容はわかりやすかったか



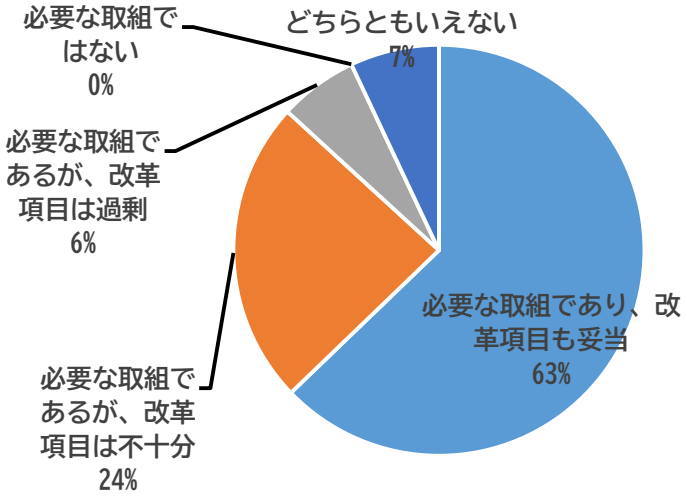
(6) 説明会に参加した感想



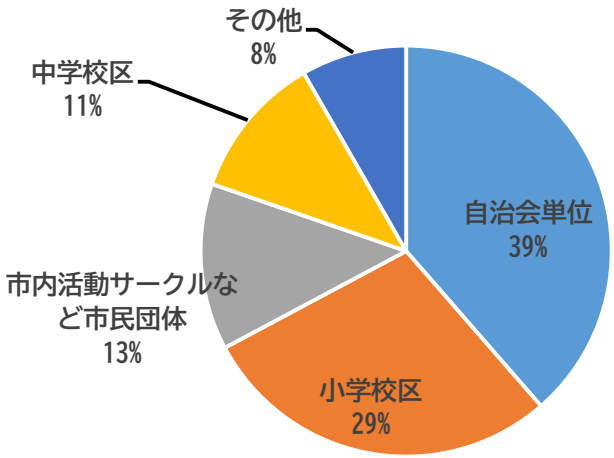
(7) 今後も、市長の市行政に対する説明会や対話集会に参加したいと思うか



(8) 行財政改革実行プランに対する評価



(9) 今後、市では市民との対話集会を開催していく予定であるが、どのようなまとまりで開催する方法が最も参加しやすいか



8 アンケートにおけるご意見・ご感想

- アンケートの最後に、市民説明会や行財政改革実行プランに関するご意見・ご感想などの自由記入欄を設けたところ、**【別添２】**のとおり、130名の方からご意見・ご感想をいただきました。
- いただいたご意見・ご感想については、今後の市民対話集会の開催やプランの進め方などの参考にさせていただきます。
- また、大変多くのご意見、ご感想をいただいたところであり、次ページのとおり、市長からも感謝のメッセージをお伝えさせていただきます。

市長メッセージ

このたびは、市民説明会に足をお運びいただくとともに、アンケートにおいて、たくさんのご意見、ご感想をいただき、誠にありがとうございました。

今回の市民説明会は、今後実施していく対話集会に向けての土台と位置付けるもので、まずは皆さんに市政の現状を知っていただきたく、説明会の形式をとらせていただきました。

今後は、より皆さんと距離の近い、双方向のコミュニケーションがとれる対話集会という形式での開催を予定しておりますが、いただいたご意見を参考に、より良い開催手法を模索しながら、若者から高齢者まで広く情報を伝え、また皆さんからご意見を頂戴しやすい環境を整えていくことで、新しい北名古屋市を皆さんとともにつくっていきたいと考えております。

また、今回いただきました行財政改革実行プランや市政への様々なご提言やご意見は、今後、プランを進める上での参考とさせていただくとともに、広く市政に活かすべく、私以下、職員一同でしっかりと情報共有させていただきます。

ご意見等の一つ一つに目を通していく中で、何より私が感じたのは、市政の情報を積極的に発信していくことの大切さと北名古屋市をより良くしたいという皆さんの熱い気持ち、また、困難な時期に市政の舵取りを任された私への期待の大きさです。

北名古屋市が誕生して１７年目。私は、北名古屋市はもっと輝けると確信しております。本市には、様々な分野で活躍できる人材が豊富に眠っていると考えており、そうした市民の皆さんと一緒に、改善すべき点は改善し、本市の特性や魅力に磨きをかけていくことで、住んでよかった、これからも住み続けたいと誇りに思っていただける北名古屋市をめざし、ともに歩みを進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも市政運営にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

北名古屋市長　太田　考則